

大阪府営宮園団地集会所

緑と共に人が集う集会所

計画のコンセプト

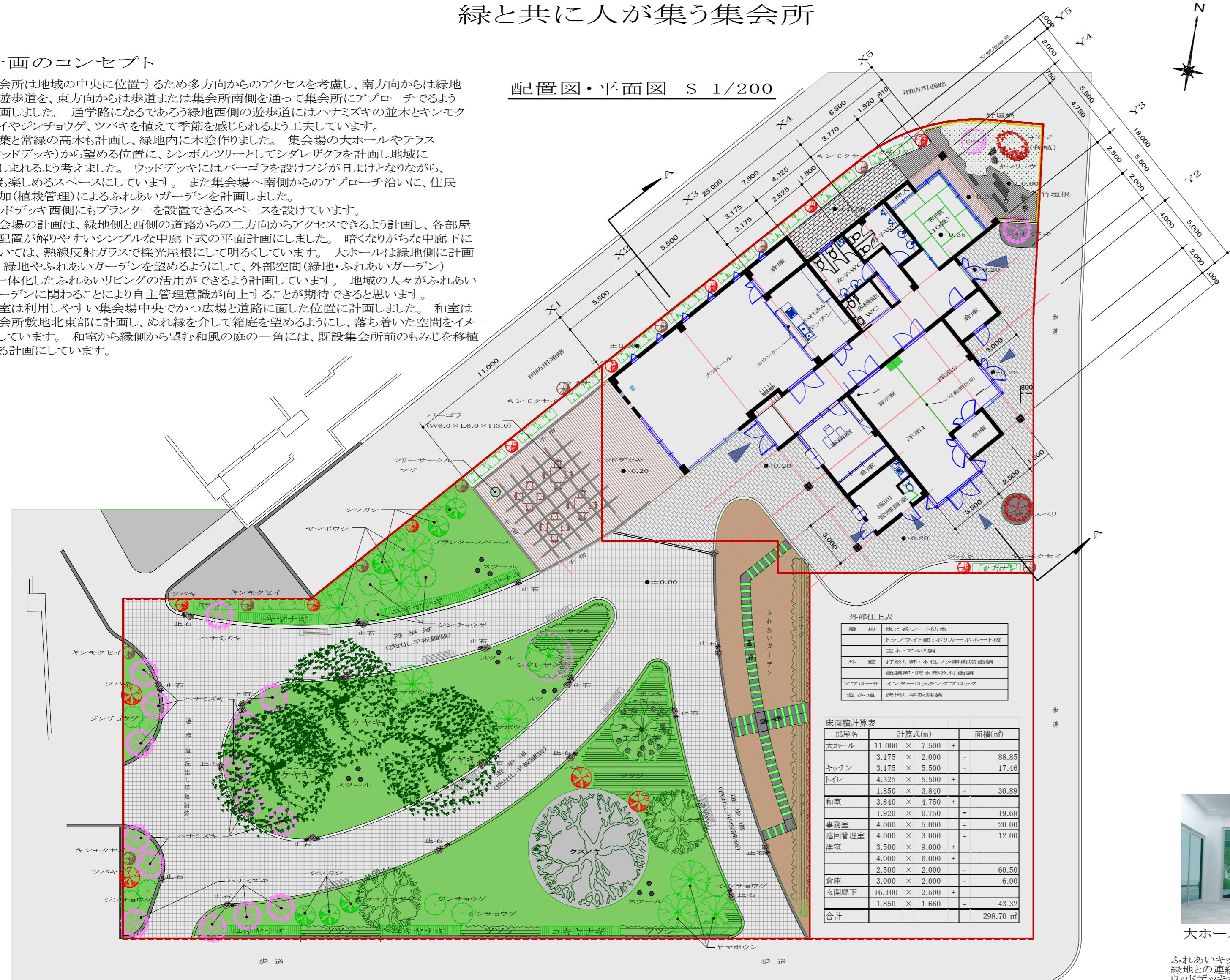
集会所は地域の中央に位置するため多方向からのアクセスを考慮し、南方向からは緑地の遊歩道を、東方向からは歩道または集会所南側を通って集会所にアプローチでるよう計画しました。通学路になるであろう緑地西側の遊歩道にはハナミズキの並木とキンモクセイやジンチョウゲ、ツバキを植えて季節を感じられるよう工夫しています。

落葉と常緑の高木も計画し、緑地内に木陰作りました。集会場の大ホールやテラス(ウッドデッキ)から望める位置に、シンボルツリーとしてシダレザクラを計画し地域に親しまれるよう考えました。ウッドデッキにはパーゴラを設けフジが日よけとなりながら、花も楽しめるスペースにしています。また集会場へ南側からのアプローチ沿いに、住民参加(植栽管理)によるふれあいガーデンを計画しました。

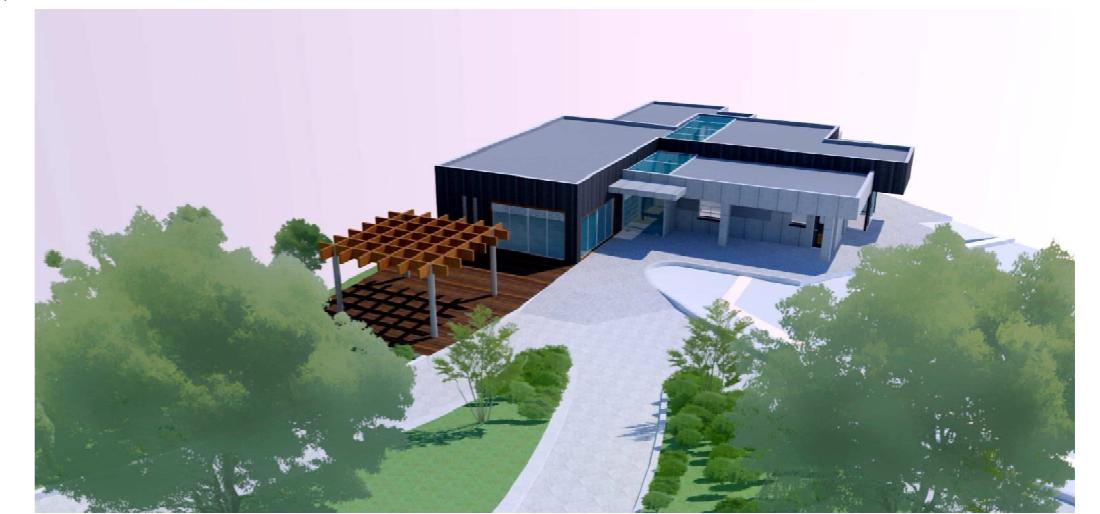
リットテッキ西側にもノランターを設置できるスペースを設けています。集会場の計画は、緑地側ヒューリックの道路からの二方向からのアクセスで

集会場の計画は、緑地側と西側の道路からの二方向からアクセスできるよう計画し、各部屋の配置が解りやすいシンプルな中廊下式の平面計画にしました。暗くなりがちな中廊下については、熱線反射ガラスで採光屋根にして明るくしています。大ホールは緑地側に計画し、緑地やふれあいガーデンを望めるようにして、外部空間(緑地・ふれあいガーデン)と一体化したふれあいリビングの活用ができるよう計画しています。地域の人々がふれあいガーデンに関わることにより自主管理意識が向上することが期待できると思います。

洋室は利用しやすい集会場中央でかつ広場と道路に面した位置に計画しました。和室は集会所敷地北東部に計画し、ぬれ縁を介して箱庭を望めるようにし、落ち着いた空間をイメージしています。和室から縁側から望む和風の庭の一角には、既設集会所前のもみじを移植する計画にしています。



緑地南側からの集会所イメージ



緑地中央遊歩道からの集会所イメージ



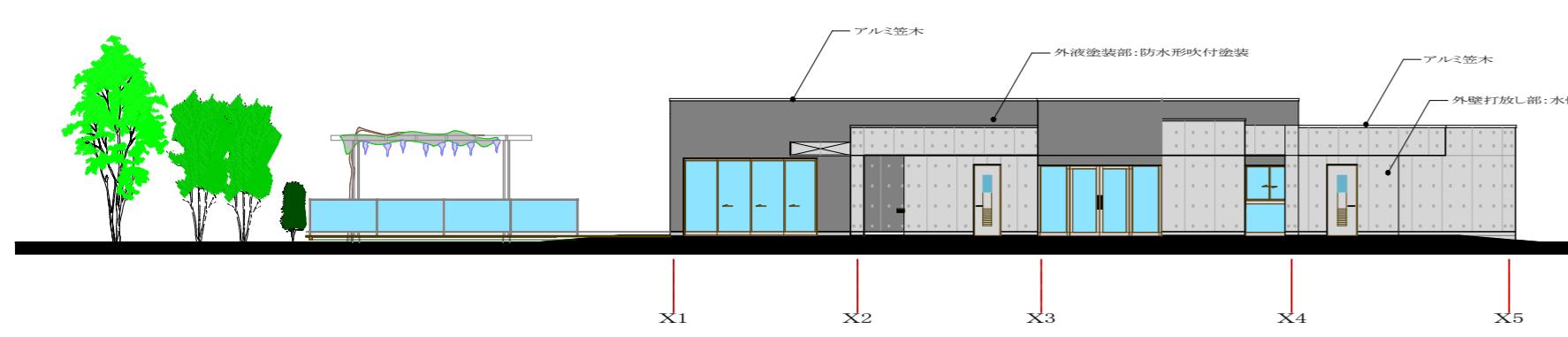
中央緑地内からの集会所イメージ

中央と南側の緑地帯は遊歩道との段差をなくし、自由に植物とふれあえるようにしています。緑地の中にスツールを配置して、緑の中でくつろげるようになっています。遊歩道と緑地帯を縁石で区切っていますが、縁石が単調にならないよう止石を配置しました。

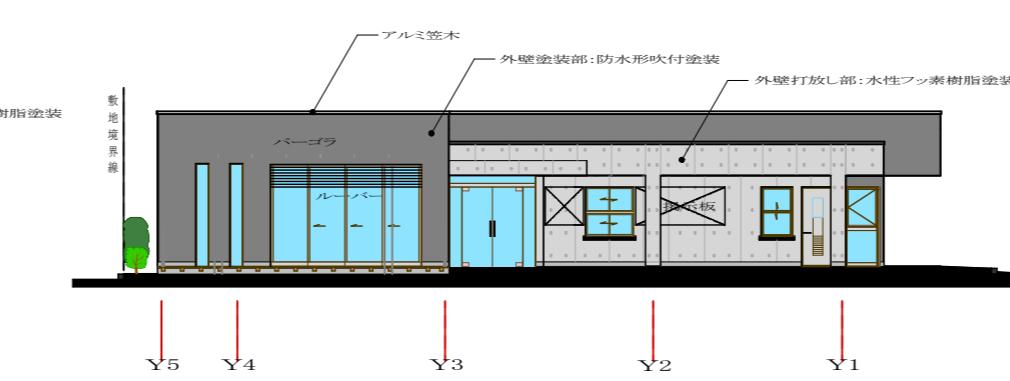


大ホールより緑地方向のイメージ

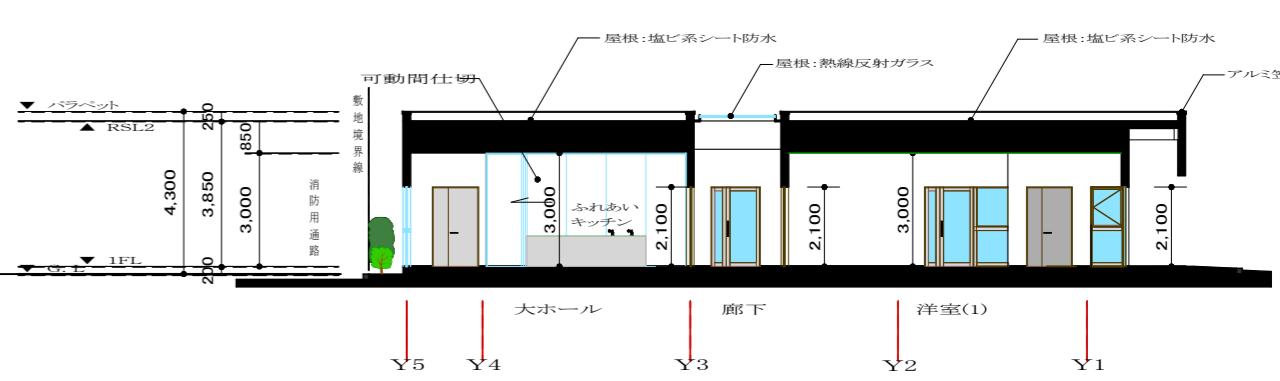
ふれあいキッチン、大ホールからウッドデッキへと
緑地との連続性を計画しました。
ウッドデッキからは、緑地とふれあいガーデンが望める。
車いすでも屋外から玄関を通らずにウッドデッキから
大ホールのふれあいキッチンにアプローチできるように
しています。



南西面 立面図 S=1/200



南東面 立面図 S=1/200



A-A 断面図 S=1/200